

3 特別会計歳入歳出予算の概要

特別会計は、特定の事業を行う場合において、特定の歳入をもって特定の歳出に充てるなど、一般会計と区分して経理する必要がある場合に、条例で設置するものです。本県では第14表の事業について特別会計を設けています。

本年度の特別会計の歳入歳出予算総額は、332億348万5千円で、前年度の338億9,681万5千円に比べ、6億9,330万円、2.0%の減となっています。

第14表 特別会計予算の状況

(単位：千円、%)

会 計 名	平成16年度 当初予算額(A)	平成15年度 当初予算額(B)	比 較	
			増 減 (A) (B)	伸び率 (A) (B)/(B)
交通災害共済事業	375,897	411,361	△35,464	△8.6
母子及び寡婦福祉資金貸付事業	204,805	205,721	△916	△0.5
小児心療センターあすなろ学園事業	989,451	1,112,553	△123,102	△11.1
農業改良資金貸付事業等	461,824	498,135	△36,311	△7.3
中央卸売市場事業	544,895	522,984	21,911	4.2
林業改善資金貸付事業	962,216	838,686	123,530	14.7
沿岸漁業改善資金貸付事業	248,892	289,299	△40,407	△14.0
中小企業者等支援資金貸付事業等	3,597,116	4,386,293	△789,177	△18.0
港湾整備事業	105,544	328,716	△223,172	△67.9
流域下水道事業	24,856,857	24,031,047	825,810	3.4
公共用地先行取得事業	855,988	1,272,020	△416,032	△32.7
合 計	33,203,485	33,896,815	△693,330	△2.1

特別会計歳入歳出予算について、その概要を説明します。

(1) 交通災害共済事業特別会計

この会計は、交通事故による被害者の当面の窮状を救済し、その生活の安定を図るための共済事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額3億7,589万7千円を計上しました。

歳入については、交通災害共済費負担金収入を3億5,554万3千円、交通災害共済基金利子362万円等を計上しました。

一方、歳出については、加入促進及び給付事業費3億6,211万6千円等を計上しました。

(2) 母子及び寡婦福祉資金貸付事業特別会計

この会計は、母子家庭や寡婦（配偶者のいない女性で一定の条件を満たす方）に対し、経済的自立を図るため、各種資金を貸付ける事業の収支を経理するもので、本年度は、歳入歳出総額2億480万5千円を計上しました。

歳入については、貸付金の元利収入1億5,823万9千円、預金の利子収入1万1千円等をそれぞれ計上しました。

一方、歳出については、貸付金として2億375万8千円を計上しており、その他は貸付けに伴う運営経費です。

(3) 小児心療センターあすなろ学園事業特別会計

この会計は、精神障害児、情緒障害児及び発達障害児の心身の健全な発達を図るために設置された三重県立小児心療センターあすなろ学園の収支を経理するもので、本年度は、歳入歳出総額9億8,945万1千円を計上しました。

歳入については、一般会計繰入金3億4,064万2千円、児童福祉法に基づく措置入園児童に係る措置費及び診療収入を3億3,145万1千円、それ以外の児童の入園、通園による入院及び外来収入等を3億1,072万4千円、産休等代替保母費に係る国庫支出金30万円等を計上しました。

一方、歳出については、職員給与費等の人件費8億108万2千円、学園の運営経費として、1億8,836万9千円等を計上しました。

(4) 農業改良資金貸付事業等特別会計

この会計は、農業改良資金助成法等に基づく農業の担い手が農業改良措置（新たな農業部門の開始、新たな生産方式の開始等）に必要な資金と、新たに農業を開始しようとする青年農業者等が必要とする施設等の導入に掛かる資金の貸付事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額4億6,182万4千円を計上しました。

歳入については、貸付金償還金収入3億1,235万2千円、県債7,525万3千円、一般会計繰入金4,696万6千円等を計上しました。

一方、歳出については、農業改良資金貸付事業費3億3,934万7千円等を計上しました。

(5) 中央卸売市場事業特別会計

この会計は、生鮮食品等の取引の適正化とその生産及び流通の円滑化を図るため開設した中央卸売市場の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額5億4,489万5千円を計上しました。

歳入については、関係事業者の市場使用料3億4,227万3千円、一般会計繰入金1億2,240万2千円

等を計上しました。

一方、歳出については、市場施設維持管理費2億4,905万5千円、人件費1億241万3千円等を計上しました。

(6) 林業改善資金貸付事業特別会計

この会計は、林業・木材産業経営の改善、労働災害の防止並びに後継者の育成に要する必要な資金の貸付事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額9億6,221万6千円を計上しました。

歳入については、貸付金元利収入5億379万6千円、県債2億3,403万5千円等を計上しました。

一方、歳出については、木材産業等高度化推進資金貸付事業費5億8,033万3千円、林業改善資金貸付事業費1億136万8千円等を計上しました。

(7) 沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計

この会計は、沿岸漁業経営の改善、生活改善および後継者の育成に必要な資金の貸付事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額2億4,889万2千円を計上しました。

歳入については、貸付金償還金収入1億3,910万円等を計上しました。

一方、歳出については、沿岸漁業改善資金貸付事業費2億1,873万8千円等を計上しました。

(8) 中小企業者等支援資金貸付事業等特別会計

この会計は、小規模企業者等設備導入資金助成法に基づき、中小企業者等の近代化、高度化を促進するため、事業の共同化、店舗の集団化および設備の近代化等に必要な資金の貸付事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額35億9,711万6千円を計上しました。

歳入については、貸付金元利収入26億3,417万4千円、一般会計繰入金6,062万7千円等を計上しました。

一方、歳出については、小規模企業者等設備資金貸付事業貸付事業費8億882万9千円、小規模企業者等設備貸与事業貸付事業費5億1,725万4千円、高度化事業資金貸付事業費1,971万1千円等を計上しました。

(9) 港湾整備事業特別会計

この会計は、港湾埋立事業により取得した港湾施設及び施設用地の管理のほか、港湾整備事業に伴い借入れた県債の償還金、利子等の経費の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額1億554万4千円を計上しました。

歳入としては、港湾施設使用料1億28万4千円、県債の元利償還負担金収入380万9千円等を計上しました。

一方、歳出については、管理費7,617万6千円及び県債の元利償還金2,936万8千円を計上しました。

(10) 流域下水道事業特別会計

この会計は、北勢沿岸流域下水道北部処理区等の管理のほか、北勢沿岸流域下水道事業等の建設費、県債の元利償還金等の経費の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額248億5,685万7千円を計上しました。

歳入については、流域下水道事業費地元負担金83億3,753万1千円、国庫負担金93億8,400万円、一般会計繰入金35億3,377万2千円等を計上しました。

一方、歳出については、流域下水道建設費170億3,914万3千円、流域下水道管理費39億820万円、県債の元利償還金等39億951万4千円を計上しました。

(11) 公共用地先行取得事業特別会計

この会計は、公共事業を行うため必要とする用地をあらかじめ取得する事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額8億5,513万7千円を計上しました。

歳入については、財産収入として土地売払収入8億5,513万7千円、利子収入81万4千円等を計上しました。

一方、歳出については、公共用地先行取得事業費8億5,513万7千円、土地開発基金積立金85万1千円等を計上しました。